

(参考)

産地パワーアップ事業
都道府県事業評価参考様式

都道府県名 熊本県

○ 産地パワーアップ計画

(1) 生産コスト又は集出荷・加工コストの10%以上の削減

地域協議会名	整理番号	地区名	対象作物	取組内容	成果目標	現状		目標		達成率 (%)	地域協議会等の評価	都道府県の評価
						年度		年度				
山鹿市農業再生協議会	3	山鹿市	WCS用稲	【生産支援事業】 WCS用稲収穫・調整機械の導入	生産コストの10%以上の削減	H29	63,766 円 /10a	R2	57,246 円 /10a	127.2%	本事業による収穫・調整機械の導入で、技術の高度化・省力化が確立しつつあり、生産コストの削減効果がみられ、成果目標を達成することができた。	本事業で導入した収穫・調整機械によりWCS生産に係る作業効率の向上が図られた結果、生産コストの削減目標が達成されている。
山鹿市農業再生協議会	4	山鹿市小坂	桑	機械導入による労働費の削減	生産コストの10%以上の削減	H29	245,046 円 /10a	R2	213,417 円 /10a	245.3%	乗用型中刈機械や茶園管理機、マルチシートを導入したことにより、桑園労働力の大幅削減、並びに適期作業への労働力シフトによる他作業への能率向上が図られた。 令和2年度は、成果目標の生産コスト10%以上の削減を達成できた。	本事業で導入した乗用型中刈機械等により桑畑の管理作業に関する労働力の軽減や作業効率の向上が図られ、生産コストの削減につながり目標が達成されている。

(2) 販売額又は所得額の10%以上の増加

地域協議会名	整理番号	地区名	対象作物	取組内容	成果目標		達成率(%)	地域協議会等の評価	都道府県の評価			
					現状	目標						
						年度	年度					
熊本地域農業再生協議会	3	熊本市河内・芳野地区	温州みかん、不知火	産地としての収益性の向上 ①シートマルチ導入による高品質化 801a ②スピードスプレーヤー、剪定枝粉砕機、自動開閉装置、選果機、コンテナ移動機、簡易型製封函機、ハイマストフォークリフト導入による作業コストの低減	販売額の10%以上の増加	H27.28	267,223,505 円	R2	307,307,030 円	408.4%	年々出荷量を増やし販売単価も高くすることで、目標を達成できた。引き続き生産性の向上に努める。	シートマルチの導入による高品質化により、販売額は目標を達成した。
熊本地域農業再生協議会	4	熊本市河内地区 宇城市 宇土市 天草市	温州みかん	産地としての収益性の向上 ①シートマルチ導入による高品質化(106a) ②剪定枝粉砕機による作業コストの低減 ③スピードスプレーヤーによる消毒作業コストの低減 ④自動開閉装置による開閉作業コストの低減 ⑤自動封緘機による出荷作業の効率化	販売額の10%以上の増加	H27.28	58,506,920 円	R2	67,074,700 円	70.2%	市場評価の低迷と消費者評価の低迷で単価を下げる形となり、目標達成に至らなかった。今後については、生産を増やすとともに新品種への更新と省力化園地の造成、新規園場の獲得を進め、改善を図っていく。 生産量・出荷量は改植・新植及び園地造成等により減少した。	シートマルチ導入による高品質化により単価は維持されているものの、生産量・出荷量は、改植・新植・園地造成等により減少した。品質については、効果のあるマルチ実施により高品質化が見込まれる。生産量・出荷量については、成園に伴い増加が見込まれる。
城南・富合地域農業再生協議会	2	熊本市地区	イチゴ	【整備事業】 ・貯蔵施設(床面積：335㎡、予冷庫：272㎡) ・自動梱包機	10a当たりの販売額の10%以上の増加	H28	3,709,177 円/10a	R2	4,303,574 円/10a	221.7%	集出荷作業を統合することにより、品質のばらつきを軽減し、市場供給に対して、安定出荷に繋がった。	本事業で整備した貯蔵施設、自動梱包機により、集出荷作業を統合できた。品質のバラツキを軽減でき、市場供給に対して安定出荷に繋がった、目標達成した。
宇城市農業再生協議会	3	宇城市 宇土市	温州みかん、不知火	・多孔質資材を導入し夏秋期の降雨を遮断することで品質を向上し、ブランド果実の生産拡大で有利販売を行う ・土壌環境の見直しと植調剤等の利用による青果率向上の実施 ・基本管理の徹底や栽培技術の底上げを行い、品質や収量向上で販売額10%以上の増加を実現する	販売額の10%以上の増加	H28	517,660 円/10a	R2	574,664 円/10a	59.4%	宇城地域振興局及び行政機関と連携し、多孔質資材及び植調剤等の利用促進と栽培技術の底上げを行い、達成に向けて部会生産者への指導を徹底する。	多孔質資材等の導入は進んだが、設置方法等により効果が十分に発揮されなかった。設置方法の改善と併せて、関係機関と部会等の連携による指導の徹底により植調剤の利用は増加傾向にあるため品質向上が見込まれる。品種更新も進んでおり、生産量の増加、高品質化が見込まれる。
玉名市地域農業再生協議会	4	玉名市	果樹(温州みかん)	【生産支援事業】 シートマルチの導入等品質向上、収量増加対策の実施	販売額の10%以上の増加	H28	374,724 円/10a	R2	414,537 円/10a	335.3%	販売単価に関しては目標を達成できなかったが、販売量は目標値を上回り、また、反収も目標を達成することができた。取り組んだ事業について効果が出たといえる。	成果目標の10a当たりの販売額は増加しており、成果目標を達成できているものの、面積が大きく減少している。今後の産地維持が懸念される。販売単価が目標を達成できなかった要因を分析し、具体的な改善策が必要と考える。
鹿本地域果樹産地協議会	1	山鹿市・熊本市北区植木町地区	温州みかん、ハウスみかん、不知火類	【生産支援事業】 高品質化資材の導入 農作業省力化機械の導入 防除機械の導入	販売額の10%以上の増加	H28	409,931 円/10a	R2	462,291 円/10a	276.4%	本事業において、シートマルチ・遮光ネット導入による生産環境の高度化をはじめ、省力化機械等の導入による作業効率化などへの効果を増大するため、生産者と関係機関が一体となり園地の整備を進めたため、10aあたりの販売額の目標が達成された。	高品質化により販売単価は目標を上回っているが、面積が目標を下回っているため、今後は生産量維持の検討が必要と考える。
菊池市農業再生協議会	2	菊池市 合志市 大津町	いちご	【整備事業】 ・低コスト耐候性ハウス、環境制御付暖房機、高設栽培施設の整備 【生産支援事業】 ・育苗施設資材、環境制御付暖房機、トラクター、畦立て機等のいちご栽培管理用資材、機械の導入 等 H29年度導入 【整備事業】 ・低コスト耐候性ハウス、環境制御付暖房機、高設栽培施設の整備	販売額の10%以上の増加	H27	4,580 千円/10a	R2	5,820 千円/10a	91.7%	①JA菊池イチゴ部会は、生産から販売までの一貫した体制整備やブランド化を行っているが、次世代を担う産地強化への体制整備が急務の課題である。 ②低コスト耐候性ハウス等の整備、機械・資材等の導入により、イチゴの生産性、品質の向上により、販売額の増加の成果目標が概ね達成できた。 ③達成できた要因として、「ひのしづく」「ゆうべに」のブランド化、栽培管理技術の向上、が挙げられる。	本事業で低コスト耐候性ハウス、環境制御付暖房機、高設栽培施設を整備し、育苗施設資材、トラクター等の導入により、現状値は大きく上回ったが、目標未達であった。今後、ブランド化、栽培管理技術向上への支援を行い、取組目標達成に努める。

(2) 販売額又は所得額の10%以上の増加

地域協議会名	整理番号	地区名	対象作物	取組内容	成果目標		達成率(%)	地域協議会等の評価	都道府県の評価	
					現状	目標				
					年度	年度				
菊池市農業再生協議会	3	菊池市	ごぼう	【生産支援事業】 H28年度導入済 ・ゴボウハーベスター、トラクター ロータリートレンチャー等、ゴボウ管理収穫用機械の導入等 H29年度導入 ・ポール打ち込み機、ウィングハロー、ハーフソイラリース等のリース導入	販売額の10%以上の増加	H27 503.1 千円 /10a	R2 574.3 千円 /10a	-88.4%	①本地域は全国有数のごぼうの生産及び出荷が盛んな地域であり、ごぼう生産は、JA菊池ごぼう部会を中心に生産から販売までの一貫した体制整備や産地強化に向けて取り組んでいる ②さらなる作付け面積の拡大を目指し市場の需要を高めるため、各種機械等の導入を実施したところであるが、成果目標の達成に至っていない。 ③その要因として、新型コロナウイルスの影響により、販売単価が著しく低下したことが挙げられる。 ④そのための具体的な指導として、引き続き良質なごぼうの生産に努めるよう指導するとともに、新型コロナウイルス禍における新たな需要の創出を模索する必要があると考える。	本事業で導入した・ごぼう用トラクター、ロータリートレンチャー、ハーベスター等で作業効率化が図られている。ロータリートレンチャーの導入で、現在よりも深耕ができ収量向上に繋がった。しかしながら、単価低下の影響もあり、販売額は伸び悩み、目標未達成となっている。 今後、良質なごぼう生産への指導徹底、コロナ禍における新たな需要の創出模索することで、取組目標達成に努める。
菊池市農業再生協議会	4	菊池市合志市菊陽町	花き	【生産支援事業】 ・単棟ハウス資材導入 ・トラクター、消毒用アタッチメント等、花き栽培管理用機械の導入等 H29年度導入 ・管理機、畦立機(マルチセット)リース導入・動力噴霧機、暖房機リース導入	販売額の10%以上の増加	H27 2,387 千円 /10a	R2 2,721 千円 /10a	-59.3%	①菊池市は比較的安定した日射量と排水性の良い土壌を背景に、宿根カスミソウ、トルコギキョウ等の切り花の作付が盛んな地域であるが、競争力の高い産地及び市場評価を高める必要がある。 ②花卉生産における必要な機械導入・資材設備を行うことで安定した適期出荷、品質及び生産向上によって販売額の増加が期待されるが、R2年度において成果目標を達成できていない。 ③その要因として、新型コロナウイルス感染拡大に伴う花き需要の大幅減が考えられる。 ④このため、地域協議会としては引き続き良質な花き生産を指導するとともに、新型コロナウイルス禍における新たな需要の創出を模索する必要があると考える。	新型コロナウイルス感染拡大に伴う需要の減少と単価の下落により、成果目標の達成に遅れが生じている。このため、需要期に合わせた計画的な出荷と品質向上による目標達成に努める。あわせて、新たな需要の創出に努める。
阿蘇市地域農業再生協議会	1	阿蘇市	そば	コンバイン及び乾燥調製機械の導入により他品目との共用を解消し、適期刈取による品質・反収の向上を図る。	販売額の10%以上の増加	H29 5,884 円/10a	R2 11,610 円 /10a	56.4%	他品目との共用が解消され、適期刈取が実現されたことにより、規模の拡大が図られている。しかし、供給過剰となり、販売単価が下がったため目標の達成には至らず、栽培管理の徹底を図る必要がある。	本事業で導入した施設により適期作業が行われ、規模拡大につながっている。しかし、供給過剰による販売単価低下により単位面積当たりの販売額が伸び悩んだため、目標未達成となっている。今後は販路の見直し等を指導することで、目標達成に努める。
山都地域農業再生協議会	2	矢部地区	ミニトマト	【整備事業】 低コスト耐候性ハウス整備(耐風速50m、13棟、4,470㎡)	10a当たりの販売額の10%以上の増加	H29 2,859 千円 /10a	R2 3,382 千円 /10a	128.4%	年々、ミニトマトの経営者が増え、栽培面積などの規模拡大ができてきている。気象災害等の影響もあるが単価としては、平均値を保っている。	栽培面積の増加に伴い、産地の出荷量は増加した。計画時と比べて高単価であり、10a当たりの販売額は増加した。
山都地域農業再生協議会	3	矢部・清和・上差尾地区	さといも	【整備事業】 さといも選果機導入	10a当たりの販売額の10%以上の増加	H29 215,270 円/10a	R2 241,557 円 /10a	69.9%	価格補正前の実績では、10a当たりの販売高・出荷量共に目標を達成できたが、単価が伸び悩んだ為、価格補正後の実績は未達成となった。	本事業で導入したさといも選果機により、生産量は増加したものの単価低下に伴い、目標未達成となっている。今後、引き続き、生産指導を実施し、高品質なサトイモ生産による取組目標達成に努める。
八代市農業再生協議会	4	八代市鏡地区	トマト、ミニトマト	【生産支援事業】 ①生産資材導入 ・高所誘引資材、レールシステム一式(129.7a) ・収穫台車(レール用)(19台) ②リース導入 ・電動作業台車(レール用)(19台) ・養液土耕装置(2台) 【整備事業】 高度技術導入施設 ・養液栽培施設・立体栽培施設・細霧冷房施設	10a当たり販売額の10%以上の増加	H28 5,524,711 円/10a	R2 6,538,763 円 /10a	148.3%	コロナ禍の影響を受け、単価は低迷したものの、面積、生産量ともに順調に伸びており、目標を達成することが出来た。	生産資材、機械リースの導入や高度技術導入施設の整備により、面積、生産量共に増加し、目標を達成することができた。
八代市農業再生協議会	5	八代市郡築地区	トマト	【生産支援事業】 ①リース導入 ・複合環境制御システム一式	10a当たり販売額の10%以上の増加	H28 4,612,681 円/10a	R2 5,123,220 円 /10a	515.3%	環境制御の効果もあり目標は達成している。今後も目標達成に向けて努力していく。	事業で複合環境制御システムのリース導入により、生産量が増加し、販売額の増加に繋がりと、取組目標を達成した。今後も目標達成に向けてサポートしていく。
八代市農業再生協議会	7	八代市松高地区	レタス	① 環境保全型農業による生産性の向上、品質向上を目的とし、必要な機械等の導入を図る。 ② 環境保全型農業による生産に加え、さらにGAPの取組もおこない、消費者へ安心・安全な生産・出荷により、販売単価の向上を図る。	10a当たり販売額の10%以上の増加	H29 296,345 円/10a	R2 327,369 円 /10a	479.9%	機械の導入により、目標を達成することができた。今後も目標が達成できるように努力を行う。	本事業で導入した機械により、目標を達成することができた。今後もサポートし、取組目標達成に努める。

(2) 販売額又は所得額の10%以上の増加

地域協議会名	整理番号	地区名	対象作物	取組内容	成果目標	現状		目標		達成率(%)	地域協議会等の評価	都道府県の評価
						年度		年度				
氷川町農業再生協議会	2	氷川町	いちご	基幹作物の一つであるいちごの産地化を構築し、単収の増加及び品質向上に取り組み ①集出荷貯蔵施設（いちごパッケージセンター）の導入による安定した計画生産の取り組み ②低コスト耐候性ハウス及び機械リースの導入による高品質かつ安定的な供給への取り組み	10a当たりの販売額の10%以上の増加	H28	4,442,579 円/10a	R2	5,117,851 円/10a	72.6%	価格補正前の実績では目標を達成したが、相場全体の価格の上昇により、価格補正を行った結果、未達成となった。 JA出荷ではない農家において反収が少ない傾向にあるため、共販・未共販にとられず、JA指導員や有識者の指導を仰ぎながら、産地全体として目標達成に取り組む。	集出荷貯蔵施設（いちごパッケージセンター）の導入、低コスト耐候性ハウス及び機械リースの導入により、反収向上に繋がったが、価格補正により、目標を販売額は目標値を下回り、未達成となった。JA出荷ではない農家の反収が少ない傾向にあるため、栽培管理指導を徹底し、取組目標達成に努める。
あさぎり町地域農業再生協議会	2	人吉球磨	薬用作物	薬用作物産地の形成の推進 ①土地利用作物から薬用作物への作付転換の取組 ②高度な栽培・加工技術等の導入による計画生産の取組 ③大手企業との契約栽培による産地化に向けた高品質・安定供給の取組	販売額の10%以上の増加	H27	78 千円/10a	R2	188 千円/10a	146.4%	実需者が求める品種の良いミシマサイコの種子及び根の出荷ができたため買い取り価格による目標達成につながったものと思われる。	本事業で導入した機械・施設により、適期作業や効率化による出荷数量の増加につながり、反収の増加目標が達成されている。
あさぎり町地域農業再生協議会	3	球磨地域	いちご	【生産支援事業】 高設ベンチ資材導入、自動フィルム包装机3台リース導入 暖房機、自動換気装置、電照、炭酸ガス発生装置リース	販売額の10%以上の増加	H28	3,597,044 円/10a	R2	4,041,695 円/10a	225.8%	生産面積はR2.7月豪雨災害の影響で減少したが、本取組みにより、県の推奨品種である「ゆうべに」の出荷量等も向上したことから目標を達成することができたと思われます。	本事業で高設ベンチ資材導入、自動フィルム包装机等のリースにより安定した生産・出荷体制が整ったが、生産面積はR2.7月豪雨の影響で減少した。しかし、県育成品種「ゆうべに」の作付けにより、出荷量も向上し、目標を達成した。
天草市農業再生協議会	1	天草市	施設野菜（ミニトマト）	【整備事業】 高度環境制御栽培施設、太陽光利用型ハウス、低コスト耐候性ハウス整備等 【生産支援事業】 暖房機リース導入 二重カーテン、灌水資材導入	販売額の10%以上の増加	H27	3,488,102 円/10a	R2	4,629,447 円/10a	173.8%	当産地におけるミニトマトの栽培面積は、高齢化による離農や単価安に伴う品目変更により、減少傾向にある。そのような中で、この事業により面積の維持が図られていることは大きな実績となっている。 また、10a当たりの販売金額の目標も達成することが出来、産地としての生産力強化が図られている。	高齢化による離農や品目変更により、栽培面積は減少傾向にあるものの、一部での施設整備によって面積維持が図られている。 また、出荷量は目標値を下回るものの、10a当たりの販売金額は目標を達成しており、生産力強化に繋がっている。

(3) 契約栽培の割合の10%以上の増加かつ50%以上とすること

地域協議会名	整理番号	地区名	対象作物	取組内容	成果目標		達成率(%)	地域協議会等の評価	都道府県の評価			
					現状	目標						
					年度	年度						
熊本地域農業再生協議会	2	熊本市河内地区他	温州みかん	産地としての収益性の向上 ①シートマルチ導入による高品質化(2,337a)	契約栽培の割合の10%以上の増加かつ50%以上とする	H28	72.6 %	R2	85.6 %	133.1%	契約数量を大幅に増やすことが出来、目標を達成することができた。引き続き契約栽培の割合の増加を目指していく。	マルチ被覆による高品質化に取組み、着実に契約数量の増加ができています。
城南・富合地域農業再生協議会	1	熊本市南区城南町地区	玉ねぎ	①農業用機械・資材導入を行い、作業の効率・省力化を図り、生産性の向上を図る。 ②予措保管施設、運果施設、低温貯蔵施設を整備し、安定出荷・品質向上を図り、契約率の向上を図る。	契約栽培の割合の10%以上の増加かつ50%以上	H28	0 %	R2	55 %	96.5%	出荷先の減少により目標に少し及ばなかったが、今後は引き続き契約数及び契約量を増やし目標を達成できるようにする。	出荷先の減少により達成率100%に少し及ばなかったものの、概ね目標を達成できている。今後は引き続き契約数及び契約量を増やすよう指導する。
八代市農業再生協議会	2	八代市鏡・郡築地区	キャベツ レタス じゃがいも	集出荷貯蔵施設 ・建屋1,300㎡ ・選果機一式 ・予冷施設一式等 育苗施設10棟、0.71ha ・妻、側部開閉装置、谷部開閉装置、循環扇、換気扇、自動内張カバー装置、暖房施設	契約栽培の割合の10%以上の増加かつ50%以上	H27	42 %	R2	80 %	150.0%	契約割合の増加の成果目標は達成することが出来たが、新型コロナウイルス感染症拡大における消費減少に伴い、契約数量の減余儀なくされ、面積、総出荷量、契約数量は目標値に達していない。契約数量の増に向け、出荷先と協議を進めるよう指導し、今後も引き続き目標達成に向けて努力してもらう。	出荷量は低迷したものの、契約数量は伸びており、取組目標を達成することができた。今後も取組目標達成に向けて支援する。
氷川町農業再生協議会	1	若洲地区	レタス	【生産支援事業】 ・単棟ハウス資材導入(16棟) ・トラクター、野菜移植機、ロータリー、畝立て機各1台リース導入 ・生産資材導入 ペリソ1410本、グリーンカー14本、単棟ハウス資材	契約栽培の割合の10%以上の増加かつ50%以上とする	H28	47.6 %	R2	84.9 %	140.5%	生産資材の導入により、安定的な生産が可能となったことで、すべて契約栽培とすることができた。	生産資材の導入により、安定的な生産が可能となり、契約栽培の割合が増加し、目標を達成することができた。

(4) 需要減が見込まれる品目・品種から需要が見込まれる品目・品種への転換率100%

・該当なし

(5) 農産物輸出の取組(直近年の輸出実績がある場合の輸出向け出荷量又は出荷額の10%以上の増加、新規の取組の場合又は直近年の輸出実績がない場合の総出荷額に占める輸出向け出荷額の割合5%以上又は輸出向け年間出荷量10トン以上)

・該当なし

(6) 労働生産性の10%以上の向上

・該当なし

都道府県平均達成率	84.7%	総合所見	本県において今回の事業評価対象となった25地区のうち、18地区が達成率90%を上回り成果目標を達成し、当該事業の実施が産地の生産力の向上等に繋がっている。しかし、残る7地区については未達成であったため、成果目標未達成の地区については、今後ヒアリング等を実施し未達成要因を分析するとともに、関係機関と連携しながら、品質向上や収量増加に向けた指導及び成果目標達成に向けた取組の推進を行っていく。
-----------	-------	------	---